

令和 6 年

8

月

会津農林かわら版

第 4 2 号

熱塩小学校の児童が「生きもの調査」で自然を学びました



▲捕れた生物を説明する春本講師



▲川を調査する子どもたち

令和 6 年 6 月 17 日、喜多方市立熱塩小学校で「生きもの調査」を実施し、児童 25 名が参加しました。この調査は、「ふくしまの農育」推進事業の一環で、児童たちが農村地域や自然環境の重要性を学ぶことを目的としています。アクアマリンふくしまから講師として春本氏と永山氏を招き、専門的な指導が実施されました。

児童たちは、講師から採取方法について学んだあと、学校の田んぼ、土水路、川に分かれて調査を行いました。田んぼでは、アマガエルのオタマジャクシやタニシを捕まえ、土水路ではホトケドジョウやサワガニ、川ではカジカやカジカガエルのオタマジャクシなどを発見しました。長靴に水が入るのも気にせず、生きものを探すことに夢中でした。

児童たちは、「去年は雨でできなかったけど、今年は生きもの調査ができて嬉しかった」「いろいろな生きものが沢山捕れて楽しかった」と生きものとの出会いを満喫していました。

今回の調査で、児童たちは異なる環境による生態系の違いを学び、学校周辺の農村環境に対する理解を深めることができました。今後も管内の小学校の農育に関する支援を継続してまいります。

【農村整備部】

目次

- P1 熱塩小学校の児童が「生きもの調査」で自然を学びました
- P2 令和 5 年度全日本学校関係緑化コンクールの賞状伝達を行いました
フレッシュ農業講座を開催しました！
- P3 令和 6 年度第 1 回両沼地域担い手支援連携会議を開催しました
「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- P4 令和 6 年度おたねにんじん推進協議会及び第 1 回栽培講習会を開催しました
会津養鶏協会令和 6 年度通常総会が開催されました
- P5 桐苗の贈呈式が開催されました
西会津町森林組合創立 60 周年記念式典が開催されました
- P6 緑の教室（第 1 回）を開催しました
新鶴小学校の 4 年生が新宮川ダムを見学しました
- P7 労働安全と応急手当を学ぶ GAP 研修会を開催しました
宮川ダム・二岐ダム許可工作物合同点検を実施しました

- P8 両沼地域鳥獣被害対策担当者連携会議を開催しました
コメの流通やスマート農業を学ぶ水稻研修会を開催しました！
- P9 第 37 回からむし織の里フェアで奥会津の魅力を再発見！
- P10 自動草刈り機「KRONOS」の実演会を開催しました
令和 6 年度第 1 回会津坂下農業普及所農業普及推進懇談会を開催しました
- P11 電気柵の設置支援活動の成果と課題

会津農林事務所からのお知らせ

- P11 奥会津金山赤カボチャ®の出荷が始まりました
- P12 「会津ならではの花々を愛でる月間」を開催中です！
福島県農林水産部公式 YouTube チャンネル「1400 のネタばらし配信」
会津農林事務所 SNS 更新中
- P13 野生きのこの出荷・販売に御注意ください！
- P14 7 月 20 日は「昭和かすみ草の日」

写真：北塩原村
中津川溪谷

令和5年度全日本学校関係緑化コンクールの賞状伝達を行いました



▲会津若松市立湊学園 学校林等活動の部「準特選」

令和5年度全日本学校関係緑化コンクールにおいて、会津若松市立湊学園が学校林等活動の部で「準特選」、同市立大戸小学校が学校環境緑化の部で「入選」に輝き、星所長より賞状の伝達を行いました。

湊学園では、児童たちが自ら学校林の整備を行い、猪苗代湖の水質調査を通して森林と水のつながりについて学ぶなど、総合的な学習に取り組んでいます。特に、猪苗代湖の水質にも着目した点が評価され、今回の受賞につながりました。



▲会津若松市立大戸小学校 学校環境緑化の部「入選」

大戸小学校は児童がプランターで育てた花の地域施設への寄贈や、保護者や地域の方々の協力のもと花壇の植え付け作業を行うなど、地域全体で大戸町の緑化活動に取り組む活動が評価され、昨年に引き続いての受賞となりました。

両校の児童生徒の皆さんは、緑化活動を通して、自然の大切さや地域への貢献を学び、豊かな心を育てていることと思います。今後も、緑いっぱいの美しいまちづくりに貢献してくれることを期待しています。

【森林林業部】

フレッシュ農業講座を開催しました！

令和6年7月4日、会津農林高校耶麻校舎の3年生14名を対象に、農業への興味関心を深めてもらうため、フレッシュ農業講座を開催しました。

最初の訪問先である有限会社大和川ファームでは、会社の経営方針や経営概要、最新のライスセンター設備について学びました。続いて、株式会社AML植物研究所では、完全閉鎖型の植物工場で、水耕栽培されたレタスや機能性野菜の生産工程を見学しました。

最後に、新規就農者の田中圭氏から、農業を始めるまでの道のりや、実際の経営について話を伺い、アスパラガスの栽培現場を見学しました。

参加した生徒たちは、それぞれの農場で異なる農業のスタイルに触れ、農業の仕事に対する理解を深めました。今回の講座が、生徒たちにとって農業という仕事について考えるきっかけになることを期待しています。

【喜多方農業普及所】



▲ライスセンター見学
(有限会社大和川ファーム)



▲工場見学（株式会社AML植物研究所）



▲アスパラガスほ場見学（田中圭氏）

令和6年度第1回両沼地域担い手支援連携会議を開催しました

令和6年5月29日、農業総合センター会津地域研究所の研修室において、令和6年度第1回両沼地域担い手支援連携会議を開催し、構成員21名が出席しました。

この会議は、会津坂下農業普及所管内の関係町村、農業委員会、JA、土地改良区、農地バンク（公益財団法人福島県農業振興公社）、および当所が構成員となり、認定農業者や新規就農者などの担い手支援や、効率的な農地利用を促進するための農地バンク（基盤整備を含む）に関する連携強化を目的としています。



▲会議の様子

今回の会議では、令和6年度末が策定期限となっている地域計画、新規就農者への対応方針、農地バンクの実績および基盤整備事業に関する情報共有が行われました。

今後も本会議を通じて関係機関との連携を強化し、担い手支援の充実を図ってまいります。

【会津坂下農業普及所】

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました

令和6年6月9日、第38回ふるさと会津工人まつり会場において、第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました。また、7月20日には、第37回からむし織の里フェア会場にて、第2回目のキャンペーンを開催しました。

このキャンペーンでは、県産農林水産物の魅力を広く知っていただくため、アンケートにご協力いただいた先着200名様（第1回）、及び100名様（第2回）に、GAP認証を受けた会津産アスパラガスをプレゼントしました。会場では、GAPについてのパネル展示やチラシの配布を行い、県産農林水産物の美味しさと安全性をPRしました。

配布したアスパラガスは非常に好評で、多くの方々に喜んでいただきました。アンケート結果からは、GAPに対する認知度が依然として低いことが分かり、第2回のアンケートでは回答者の約70%がGAPを知らないという回答がありました。

これからも、イベントを通じて県産農林水産物の安全性と美味しさを広く発信し、皆様に福島の豊かな恵みをより身近に感じていただけるよう努めてまいります。

【企画部】

第1回



▲キャンペーンの様子



▲GAP認証会津産アスパラガス

第2回



▲プレゼント配布の様子

令和6年度おたねにんじん推進協議会及び 第1回栽培講習会を開催しました

会津地方で長い栽培の歴史を持つ「おたねにんじん」の生産振興と利用拡大を目的としたおたねにんじん推進協議会を、令和6年6月13日に開催しました。この協議会は、生産者、市町村、JA、取扱業者などが連携して組織しており、令和6年度の取り組みとして以下の方針が確認されました。

- 1 栽培講習会の開催：年4回の栽培講習会を開催し、技術の向上を図ります。
- 2 新規生産者への支援：地域特産活用産地づくり支援事業を通じて、新規生産者への初期生産資材の導入や種子確保に対する助成を行います。
- 3 利用促進と知名度向上：委託事業を活用し、おたねにんじんの利用促進と知名度向上に向けた取り組みを進めます。
- 4 技術開発：会津地域研究所を中心に、コンテナ栽培の技術開発を推進します。

協議会の終了後には、第1回栽培講習会が開催され、生産者など21名が参加しました。今年の春の発芽は良好であったものの、既に一部で病害が見られる状況を踏まえ、今後の防除対策について熱心に議論が行われました。また、水やりが難しいとされるコンテナ栽培における土壌水分の管理方法についても、具体的な研修が行われました。

今回の協議会と講習会を通じて、おたねにんじんの安定生産と地域産業の発展に向けた取り組みがさらに強化されることが期待されます。 【農業振興普及部】



▲協議会の様子



▲栽培講習会の様子

会津養鶏協会令和6年度通常総会が開催されました



▲会長交代の様子

令和6年6月14日、会津若松商工会議所にて会津養鶏協会の令和6年度通常総会が開催され、会員や来賓を含む22名が出席しました。

会津養鶏協会は、養鶏の生産・流通・販売に携わる方々で構成されており、昨年度は「会津地鶏まつり2023」の開催や「あいづ食の陣」への参加、県外イベントへの出展によるPR活動など、精力的な活動を展開しています。

総会では、昨年度の活動報告に加え、役員改選が行われました。平成17年の協会発足以来、会長を務めてこられた武田瑞也氏が退任され、新たに会津地鶏みしまや代表取締役の小平和広氏が会長に就任しました。

退任する武田氏は、「会津地鶏というブランドを他地域に負けないよう強化してほしい」と語られ、退任後も顧問として協会に残り、後進の育成に尽力される予定です。

県としても、引き続き関係者の皆様と協力しながら、養鶏業の振興に努めてまいります。

【会津坂下農業普及所】

桐苗の贈呈式が開催されました

令和6年6月14日、会津農林高校から会津里山森林資源育成研究会へ、400本の桐苗が贈呈される贈呈式が開催されました。これらの桐苗は、会津農林高校の森林環境科の生徒たちが学校の温室を利用し、ロックウールを培地として大切に育てたものです。今後、研究会の会員らがポットに移植し、秋頃に会津地域各地で出荷・植栽される予定です。

この育苗方法には、福島県林業研究センターが開発した「桐玉植苗」技術が採用されています。この技術は、従来の分根法による育苗と比べ、実生苗であるため病気に強く、冬場の獣害にも耐えやすいという利点があります。

贈呈式は今年で4回目を迎え、この継続的な取り組みは、減少が進む会津桐の資源回復において重要な役割を果たしています。また、贈呈式終了後には、出席者全員が校内の「100年の森」に移動し、研究会の指導のもと、令和4年に記念植樹された桐苗の芽かき作業を行いました。

今後も会津地方の伝統的な特産林産物である桐の生産振興を目指し、これらの活動を支援していきたいと考えています。 【森林林業部】



▲桐苗の贈呈



▲桐の芽かき作業

西会津町森林組合創立60周年記念式典が開催されました

令和6年6月15日、西会津町森林組合の創立60周年を記念する式典が、西会津町野沢体育館にて盛大に開催されました。

式典には約50名の招待者が出席し、清野邦夫代表理事組合長の挨拶で幕を開けました。その後、功労者の表彰や知事をはじめとする来賓からの祝辞が続きました。さらに、余興として重要無形民俗文化財に指定されている藤の和芸能保存会による演舞が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

西会津町森林組合は、昭和39年5月に野沢、尾野本、西会津、奥川の4つの組合が合併して発足しました。式典では、60年間にわたる組合の歴史が紹介され、県林業公社による造林事業や、用材、パルプ材、シイタケ原木などの林産物販売事業など、主要な取り組みが振り返られました。

60年の歩みに敬意を表するとともに、今後も引き続き、組合員のため、そして地域の森林と地球環境を守るために、持続可能な組合経営を進めていくことが期待されます。 【森林林業部】



▲知事祝辞（星所長代読）



▲記念式典の様子

緑の教室（第1回）を開催しました

令和6年6月25日、「第1回 緑の教室」を開催しました。

当日は、西会津町森林組合の職員を講師に迎え、市町村や林業事業体の新任担当者など計15名が参加しました。研修は、森林測量の基礎に関する講義から始まり、その後、大山公園に移動して現地実習を行いました。実習では、コンパス測量、デジタルコンパス測量、最新のGNSS測量の3種類の手法を学びました。

室内に戻った後は、旧式の関数電卓、全円分度器、縮尺定規を使った作図の演習を行いました。また、西会津町森林組合によるGNSS測量の成果を基に、データ取り込みや施業図作成の講義も行われ、参加者たちは新旧の測量技術を比較しながら学ぶ機会を得ました。

今回の研修を通じて、災害時の対応を含む森林測量の基礎を習得することの重要性が理解されるとともに、最新の測量機器の操作性と省力化を体験することで、今後のスマート機器導入の契機となることが期待されます。

【森林林業部】



▲森林測量基礎の講座



▲GNSS測量実習

新鶴小学校の4年生が新宮川ダムを見学しました

令和6年7月8日、新鶴小学校4年生26名が総合的な学習の時間でダムの役割や水の大切さを学ぶために、新宮川ダムを見学しました。

児童たちは、まずダムの堤体下にある小水力発電所を訪れ、当所職員、土地改良区職員からダムの仕組みや、会津美里町及び会津坂下町の農業にどのように役立っているのか詳しく説明を受けました。その後、ダム内部を歩いて見学し、普段は見る事が出来ないダムの構造に驚きと感動の声が上がっていました。

児童たちからは「なぜ山の上にダムを作るの?」「ダムに貯めた水はどこで使うんですか?」などたくさんの質問がありました。職員から子どもたちの疑問に丁寧に答え、ダムが私たちの生活に深く関わっていることを学ぶことができたようでした。

また、水質調査キット（pH測定）を使って、ダム湖とダム内部の水の酸性度を比較する実験も行いました。この実験を通して、水質の違いや、水が私たちの生活に与える影響について学ぶことができました。

今後も小中学生を対象とした見学会を積極的に開催し、子どもたちにダムの役割や水の大切さを伝える活動を行っていく予定です。

【農村整備部】



▲水質調査



▲監査廊内

労働安全と応急手当を学ぶGAP研修会を開催しました

令和6年7月8日、会津若松市のピカリンホールで「GAP研修会～労働安全・普通救命講習編～」を開催し、農業者など35名が参加しました。

研修会は、GAPの認証取得に向けた取り組みの一環として、特に「労働安全」に焦点を当て、実務に役立つ内容で構成されました。既に対策を講じている農業者だけでなく、これからGAPに取り組む農業者にとっても、大変有益な機会となりました。

研修会では、まず参加者自身が、自身の農場で発生する可能性のある危険な作業を洗い出し、具体的な対策を検討しました。大型機械による事故や熱中症など、実際に起こりうるリスクについて意見が挙げられました。

続いて、会津若松消防署員による普通救命講習が行われました。参加者全員が心肺蘇生法やAEDの使い方を体験し、緊急事態発生時の対応能力を高めました。受講者には後日、普通救命講習①の受講証が発行され、万が一の事態に備えるための自信につながりました。

今回の研修会を通して、参加者の皆様は、GAP認証取得に向けた労働安全の重要性を改めて認識し、具体的な対策を検討する良い機会となりました。今後、参加者の方々が、学んだ知識をそれぞれの農場へ持ち帰り、安全な農業生産に取り組んでいくことを期待しています。

【農業振興普及部】



▲心肺蘇生法の実演

宮川ダム・二岐ダム許可工作物合同点検を実施しました

令和6年7月9日、国交省北陸地方整備局、会津宮川土地改良区、福島県による宮川ダム・二岐ダムの合同点検を実施しました。

宮川ダムと二岐ダムは、私たちの生活を支える大切な施設です。春から夏にかけては、田んぼに水を供給し、梅雨や台風シーズンには、下流の町を洪水から守る役割を担っています。

そのため、ダムの状態を常に把握し、万が一の事態に備えることが不可欠です。今回の点検では、ダム施設の検査記録や緊急時の連絡体制などの書類検査、ダム施設の現地確認を実施し、両ダムに大きな問題はないことを確認しました。

今後も定期点検を実施し、適切な管理を行うように努めてまいります。

【農村整備部】



▲宮川ダム現地調査の様子



▲二岐ダム現地調査の様子

両沼地域鳥獣被害対策担当者連携会議を開催しました



▲講演の様子

令和6年7月19日、農作物の鳥獣被害防止を目的に、三島町町民センターで両沼地域の町村担当者が集まり、意見交換を行いました。

また、西会津町役場農業振興課の飯田優貴氏を講師にお迎えし、「鳥獣被害対策担当者に求められること」と題して講演いただきました。飯田氏のこれまでの豊富な経験に基づいた知識を出席者に共有していただき、質疑応答では特にサルの対策や習性について活発な議論が交わされました。

その後、三島町の現地ほ場を視察し、電気柵の設置や追い払い方法の改善点について意見交換を行いました。

福島県では関係機関と連携し、地域に適した鳥獣被害対策を日々模索しています。農作物への被害でお困りの際は、お近くの農業振興普及部・普及所へご相談ください。【会津坂下農業普及所】

コメの流通やスマート農業を学ぶ水稻研修会を開催しました！

令和6年7月22日、会津坂下町のJA会津よつば坂下本店パストラルホールBANGEにて、「会津におけるこれからの水稻農業経営を考える研修会」を開催しました。今回の研修会は、経営の大規模化が進む中、作業の効率化・省力化、さらには販売力の強化が求められている水稻経営者を対象としています。

当日は、生産者51名と関係機関46名が参加し、コメの流通やスマート農業に関する講演及び事例報告を通じて理解を深めました。参加者からは「スマート農業に対する見方が変わった」など、好評の声が多く寄せられました。

講演を通じて、参加者は米産業の変化やスマート農業の最新動向を学び、今後の経営に役立つ知識を得ることができました。研修会を契機に、地域的水稻農業が一層発展することが期待されます。

【農業振興普及部】

講演者	講演内容
幸南食糧株式会社 橋本太郎 氏	米産業の環境変化と今後の転換を探る ～米の流通状況と会津産米の評価～
日本農業サポート研究所 橋本浩一 氏	先進地に見るスマート農業の現状と これからの農業経営
南東北クボタ 齋藤弘実 氏	自動操縦トラクターおよび田植機
株式会社サタケ 中野和也 氏	スマートライスセンターによる 品質管理技術



▲研修会の様子

第37回からむし織の里フェアで奥会津の魅力を再発見！

令和6年7月20日、第37回からむし織の里フェアが開催されました。本フェアでは、奥会津の貴重な作物である「からむし」と「昭和かすみ草」をテーマに、さまざまなイベントが実施され、多くの来場者が訪れました。

まず、奥会津の自然と農業を体感できる「からむしと昭和かすみ草の畑見学ツアー」が人気を集めました。このツアーは午前と午後の2回にわたり開催され、県内外から集まった60名以上の参加者が、奥会津の豊かな自然と伝統的な農業技術を学びました。最初に訪れた大芦地区では、からむし生産技術保存協会の解説により、からむしが2ヶ月で2.4mに成長する驚異のスピードや、早朝に収穫される独自の栽培方法について学びました。続いて、矢ノ原地区のかすみ草畑を訪れ、当所職員による栽培方法やかすみ草の特有の香りを抑える処理についての説明が行われ、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。



▲からむしの畑見学



▲昭和かすみ草の畑見学

同日、フェア会場内では、かすみ草プロジェクト※の一環で当所共催の「真夏のかすみ草ウィーク」も開催し、昭和村が誇るGIブランド「昭和かすみ草」の魅力を存分に紹介しました。かすみ草を使った体験イベントや、地元で開発された関連商品の販売を行い、多くの来場者が「昭和かすみ草」の魅力を再発見する機会となりました。また、地元特産品とのコラボレーション商品も好評を博し、地域全体の活性化に貢献しました。

これらの取り組みにより、昭和村のかすみ草の知名度がさらに向上し、地域経済が活性化していくことが大いに期待されます。今後も「昭和かすみ草」を中心に、奥会津の豊かな自然と伝統を広く発信し、地域の魅力向上に努めてまいります。

【企画部、会津坂下農業普及所】

※「かすみ草プロジェクト」とは

昭和かすみ草を知ってもらう事、かすみ草でできることを考え、かすみ草でたくさんの方の幸せを育てるプロジェクトです。昭和かすみ草を使った商品づくり、村内で昭和かすみ草を購入できる環境の整備、昭和かすみ草を使った多彩なプログラムの提供など、昭和かすみ草で村を活性化させる取組を行っています。



▲「真夏のかすみ草ウィーク」ブース



▲かすみ草を使った体験イベント

自動草刈り機「KRONOS」の実演会を開催しました



▲現地研修会の様子

会津地方の果樹農家にとって、年間5回以上の除草作業は大きな負担となっています。この課題を解決するため、令和6年7月24日、会津若松市北会津町で第1回現地検討会を開催し、リンゴ栽培者17名が参加しました。

検討会では、会津地方において導入実績のない「KRONOS(クロノス)ロボモアMR-301H」などのスマート農業機械の実演や参加者による作業体験を行いました。この機械は、お掃除ロボットのように果樹園内を自動で動き回り、24時間体制で草刈りを実施します。さらに、充電も自力で行うため、一度設置すればあとはほぼ手間がかかりません。

参加者からは、「除草に要する時間を別な作業に充てることができ、規模拡大につながる」、「暑い中除草作業を行わなくて済む」など多くの期待の声が聞かれました。

「KRONOS」のようなスマート農業機械の導入は、会津地方の農業の生産性を高め、働き方改革にもつながることが期待されます。今後も、様々なスマート農業技術の普及を推進し、会津の農業をより持続可能なものにしていきます。

【農業振興普及部】

令和6年度第1回会津坂下農業普及所農業普及推進懇談会を開催しました

令和6年7月31日、農業総合センター会津地域研究所の研修室および湯川村湊地区の現地ほ場にて、令和6年度第1回会津坂下農業普及所農業普及推進懇談会を開催しました。本懇談会は、普及指導協力委員をはじめ、農業者や関係機関・団体の代表者21名で構成されています。

まず、会議形式で令和6年度の普及指導計画や7月までの活動状況について説明し、その後、出席者との意見交換を行いました。会議では、予定時間を超えるほどの多くの意見や要望が寄せられ、当所の活動に対する関心と期待の大きさが感じられました。

続いて、現地に移動し、グリーンな栽培体系への転換を支援する「水稻代かき同時播種技術」による省力化技術について説明しました。こちらでも技術面、経費面、生育面など、さまざまな視点から多くの質疑応答があり、懇談会は盛会のうちに終了しました。

今回いただいた貴重なご意見は、年度後半の普及指導活動に反映させるとともに、来年度以降の新たな普及指導計画にも活かし、地域の課題に対して効率的かつ効果的に活動を進めてまいります。

【会津坂下農業普及所】



▲懇談会の様子



▲現地検討の様子

電気柵の設置支援活動の成果と課題

前回の記事で、会津若松市門田町南御山地区の電気柵設置支援の取り組みについてお伝えしました。電気柵の設置後、イノシシによる農作物への被害は一時的に減少したかに見えましたが、その後、徐々に柵内の園地で再び掘り起こしが増加していることが確認されました。

電圧監視システムによる調査の結果、電圧が一日中低下していることが判明し、その原因を解明するため、会津若松市門田町南御山地区長と「うりぼーチーム」※が現地に急行しました。

現地での調査により、園地から離れた場所で雑草が生い茂り、電線に接触していた箇所や、イノシシが電気柵の際で激しく掘り起こしたため、電線に土がかぶり漏電していた箇所が特定されました。

これらの問題を解決するため、地区では合同作業の際に雑草が茂りやすい場所を共有し、細心の注意を払って除草作業を行うとともに、イノシシが狙いやすい箇所については電気柵のルートを変更しました。また、区長や役員が中心となり、農作業の合間に電圧のチェックを行うことが確認されました。

これらの対策の効果については、8月下旬に予定されている中間検討会で検証を行う予定です。今後、イノシシによる被害がさらに低減することを期待しています。

【農業振興普及部】

※「うりぼーチーム」は、会津若松市、専門家、農業振興普及部による支援チームです。



▲草刈り前



▲草刈り後

会津農林事務所からのお知らせ

奥会津金山赤カボチャ®の出荷が始まりました

金山町特産品の奥会津金山赤カボチャ®は、ホクホクとした食感と強い甘みが特徴のブランドカボチャです。見た目と機械による測定値に独自の厳しい出荷基準を設け、品質検査に合格したものだけが、地域団体商標入りのシールを貼って出荷することが出来ます。

今年は8月6日から品質検査が実施され、出荷が始まりました。主に道の駅「奥会津かねやま」で購入することが出来ます。他の購入方法については生産者協議会事務局のある株式会社奥会津金山大自然までお問い合わせください。

販売期間は概ね9月下旬までです。今年は天候の影響もあり、全体的に出荷数が少なくなりそうですので、お早めにお買い求めください。

9月13～14日には福島市の「コラッセ福島」で、限定300個の直売が行われます。中通りで販売される数少ない機会ですので、ぜひ、希少なカボチャをご堪能ください。

【会津坂下農業普及所】



販売情報

主な販売場所：道の駅「奥会津かねやま」
販売期間：概ね9月下旬まで
(天候状況により変動する場合があります)
コラッセ福島での直売：9月13日（金）～14日（土）
限定300個
お問い合わせ：株式会社奥会津金山大自然
(生産者協議会事務局：0241-58-5661)

※コラッセ福島の直売日程等については、時期が近づきましたらHPをご覧ください。(https://www.corasse.com/)



「会津ならではの花々を愛でる月間」

を開催中です！



会津地方フラワーネットワークでは、7月から9月の期間、「会津ならではの花々を愛でる月間」と題し、JA会津よつばの6つの生産部会が丹精込めて育てた花々を使ったフラワーアレンジメントを、地域の様々な場所で展示しています。

7月12日からの瀬流の宿かわちを皮切りに、三ノ倉スキー場、會津稽古堂、東山温泉今昔亭・原瀧で実施してきました。8月31日からは道の駅あいづ、9月6日からは東山温泉庄助の宿瀧の湯での展示を予定しています。

この機会に会津の花々を愛でて、心豊かなひとときをお過ごしください！

【農業振興普及部】



三ノ倉スキー場の展示



會津稽古堂の展示

展示期間	展示場所	協力部会	協力花店
7/12～21	瀬流の宿かわち	昭和かすみ草部会	みつい生花店
8/7～13	三ノ倉スキー場	いいで地区花き	みつい生花店
8/23～30	會津稽古堂	あいづ花卉生産部会	すみれ花店
8/29～9/5	今昔亭・原瀧	洋花部会・キク部会	つばや花店
8/31～9/6	道の駅あいづ	洋花部会・キク部会	つばや花店
9/6～13	庄助の宿瀧の湯	フラワー生産部会	すみれ花店

福島県農林水産部 公式YouTubeチャンネル 「1400のネタばらし」配信中



最新動画



◀「石高プロジェクト」ってなに？
【第2弾】（農家さんにインタビュー
一編）

会津農林事務所SNS更新中

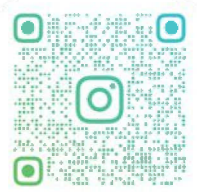
会津農林事務所では、InstagramとX（旧Twitter）において6次化商品の紹介、事務所の取組、イベントのお知らせなどを発信しています。ぜひご覧ください！



X（旧Twitter）



▲このアイコンが目印！



Instagram

野生きのこの出荷・販売に御注意ください！

野生きのこが発生するシーズンとなりましたが、各市町村で右記の表のように、出荷が制限されている野生きのこがあります。

野生きのこの出荷・販売や宿泊施設等での提供については、以下の取扱を守っていただく必要がありますので十分注意願います。

品目 市町村	ナメコ	ムキタケ	マイタケ	クリタケ	ナラタケ	マツタケ	左記 6 つ 以外の 野生きのこ
会津若松市	△	○	×	○	△	△	×
喜多方市	△	△	×	×	△	△	×
北塩原村	△	△	×	×	△	△	×
西会津町	○	○	○	○	△	△	×
磐梯町	△	△	×	×	△	△	×
猪苗代町	△	△	×	×	△	△	×
会津坂下町	△	△	×	×	△	△	×
湯川村	○	○	○	○	○	○	○
柳津町	△	△	○	×	△	△	×
三島町	△	△	○	×	△	△	×
金山町	○	○	○	○	○	○	○
昭和村	○	○	○	○	△	△	×
会津美里町	○	○	×	×	△	△	×

※×は出荷制限がかかっている野生きのこです。

※△は出荷制限中ですが、県が定める出荷・検査方針に基づき、非破壊検査機による検査を受け、基準値を下回っていると確認されたものは出荷が可能です。

（事前に台帳への登録が必要となりますので、森林林業部へご相談ください。）

※湯川村、金山町の野生きのこは出荷制限がかかっていません。

出荷制限等品目について遵守いただく事項

- 1 制限が解除されるまで出荷・販売はできません
- 2 自主検査等で基準値以下でも出荷・販売はできません
- 3 加工品の原料としても使用できません
- 4 食堂や宿泊施設等で調理してお客様に提供することもできません
- 5 フリマアプリ等のインターネットによる通信販売、無人販売所での販売もできません
- 6 他人への無償譲渡もできません（出荷・販売に含まれます）

出荷制限等のない品目について

- 1 毎年、採取時（出荷前）に市町村毎、品目毎にモニタリング検査を行っていますので、検査に御協力願います
- 2 モニタリング検査は各市町村が受付窓口となり、県で検査を行います
- 3 モニタリング検査で安全が確認されたうえで、出荷・販売をお願いします
- 4 出荷・販売する際には、市町村名による産地の表示をお願いします
（※検査に関する詳細は、各市町村または森林林業部までお問い合わせください。）

※最新の出荷制限等の情報は、次のホームページで確認できます。

◇福島県内のは、福島県林業振興課のHP
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/>

◇福島県外のは、厚生労働省のHP
https://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html

【森林林業部】

特集

7月20日は 「昭和かすみ草の日」

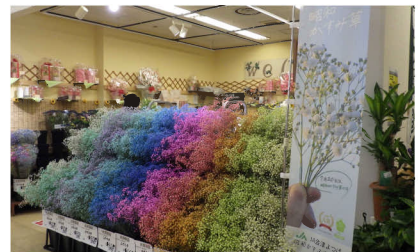


皆さん、ご存じでしたか？7月20日は「昭和かすみ草の日」なんです！
主に6～10月の夏秋期に全国各地に出荷されている「昭和かすみ草」ですが、令和5年7月20日にG I（地理的表示）保護制度に認定されたことを記念し、7月20日は「昭和かすみ草の日」となりました。
今年は、この記念すべき日を皆さんに広く知ってもらうため、様々なPR活動を行いました。

地域に根ざしたPR活動

・ヨークベニマルでのかすみ草フェア

会津若松市のヨークベニマル一箕町店と門田店では、毎年恒例のかすみ草フェアを7月6日～7日に開催。今年は、特別価格での販売や、関係者による店頭PRなど、大盛況のうちに幕を閉じました。



▲かすみ草フェアの売り場

・道の駅でのPR

奥会津4町村の道の駅では飾り花やポスター掲示を行い、多くの方に「昭和かすみ草の日」をPRしました。



▲道の駅尾瀬街道みしま宿

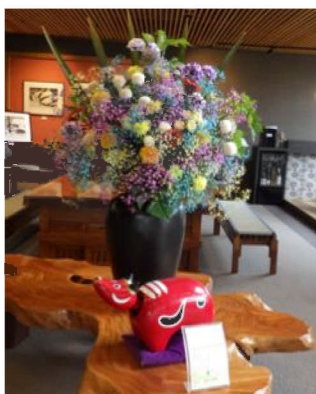
▼道の駅会津柳津



▼道の駅奥会津かねやま



▲道の駅からむし織の里
しょうわ



▲会津フラワーネットワークの飾花

・宿泊施設とのコラボ

7月12日からは、柳津町の「瀬流の宿 かわち」で、ロビーに美しいかすみ草の飾り花を展示しました。5色の「昭和かすみ草」を用いた飾り花で宿を訪れたお客様方をお迎えしました。

メディアでのPRと全国への取組

・全国放送への出演

7月16日、人気番組「めざましテレビ」のお花プレゼントコーナーで「昭和かすみ草」が紹介され、全国にその名が知れ渡りました。

・全国市場でのPR

関東・中京・関西の8つの市場では、7月15日～19日までかすみ草のアレンジメント展示やSNSでの情報発信が行われ、幅広い層にアピールしました。

7月20日は
昭和かすみ草の日



記念日当日の盛り上がり

・昭和村でのイベント

昭和村で開催された「第37回からむし織の里フェア」では、先着250名様に記念品を配布し、来場者に「昭和かすみ草の日」をアピールしました。

・県内全域でのフェア

県内のヨークベニマル61店舗でかすみ草フェアを開催し、県民全体に「昭和かすみ草の日」を周知しました。

今後続く「昭和かすみ草」の物語

今年の「昭和かすみ草の日」は、多くの方々に愛される一日となりました。今後も、過去最高販売額7億円を目指して、関係機関と連携しながら高品質な昭和かすみ草の生産・販売に努めていきます。

ぜひ、7月20日は「昭和かすみ草の日」ということを覚えていただき、美しい昭和かすみ草をあなたの暮らしの中に取り入れてみてください。

【会津坂下農業普及所】

初秋のかすみ草ウィーク 9月5日（木）～9月9日（月）

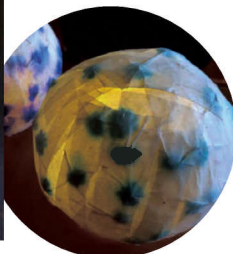
アクティビティ



▲フラワーボール



▲かすみ草スタンド



▲かすみ草ランプシェード

GI認定の昭和かすみ草が道の駅で限定販売されるお得なイベントです。期間中は普段できないかすみ草のアクティビティも実施します！

お問合せ

道の駅からむし織の里しょうわ

968-0215 福島県大沼郡昭和村佐倉上ノ原1

☎ 0242-58-1655

【ご意見・お問合せ】

福島県会津農林事務所 企画部地域農林企画課

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号（会津若松合同庁舎2階）

☎（0242）29-5369 FAX（0242）29-5389

